

広報・宣伝
チームの

DX



DXの波、来てます。

DXとは？

書籍、記事、セミナー... さまざまな媒体で語られる「DX」。2018年には経済産業省よりDX推進ガイドラインが発表されるなど、ビジネスシーンではいまや当たり前に使われる言葉になっています。

DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、データとデジタル技術を活用して、業務そのものをはじめ、組織、プロセス、企業文化、風土を変革すること。流れの早い現代社会において、対応力のある企業になろうという動きが背景となっています。

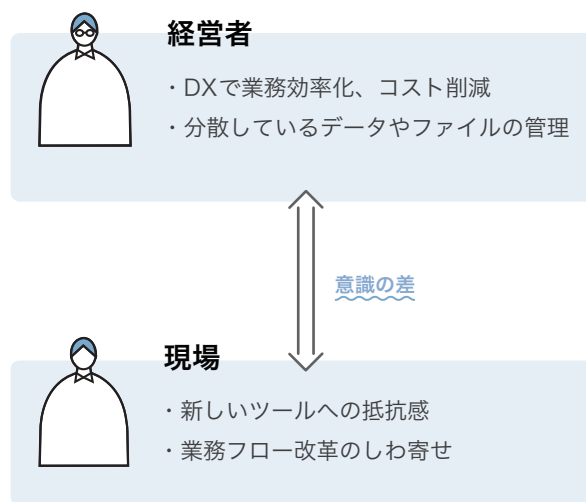


DX推進のおとし穴

CASE 01 DXへの意識の差

さあ、はじめよう。
DXをどんどんやろう。

でもその前に、少し立ち止まってみてください。
もっとも大切なのは、業務フローが効率化されることではなく、新しい業務フローが受け入れられ、定着すること。そのためにはDX推進を牽引する経営者が、現場の課題や意見を取り入れ、バランスをとっていくことが大切です。



シャドー IT の横行

効果がないまま
コスト増加



CASE 02 会社に上手く浸透せず、コストが増加

日本企業でDX推進に成功したのはわずか16%にとどまっています、表面的で適切でない形のDXが推進されると、定着せずに頓挫してしまったり、意図しない負担が増えてしまうこともあります。

例えば、企業側が把握していないサービスを従業員が無断で使用する「シャドー IT」。社内ニーズのすり合わせができていないままDXによる改革が推進されると、効果のないままコストが増加してしまうことも。DXの失敗を防ぐには、システムや技術の導入だけではなく、その定着を図る必要性があります。

DX 推進のカギ

01 DXの必要性を社内で共有する

DX 成功のカギはビジョンの共有です。

経営層から現場に至るまで、「なぜ改革が必要なのか」「どのように進めるのか」を協議し共有することが大切です。

また、「DX」の定義や方法は業界や企業によって多種多様です。自社にとってのDXのゴールとは何かを明確にし、模索する必要があります。

02 「目的」と「手段」

DXとIT化の一番の違いは、IT化がIT技術の導入をゴールとするものであるのに対し、DXはIT技術を手段とした新たな価値の創造を目的としているところです。システムや業務フローを改革することそのものではなく、それを活かしてどのような価値を生み出すかを明確にすることがDX成功のカギとなります。



03 データの活用

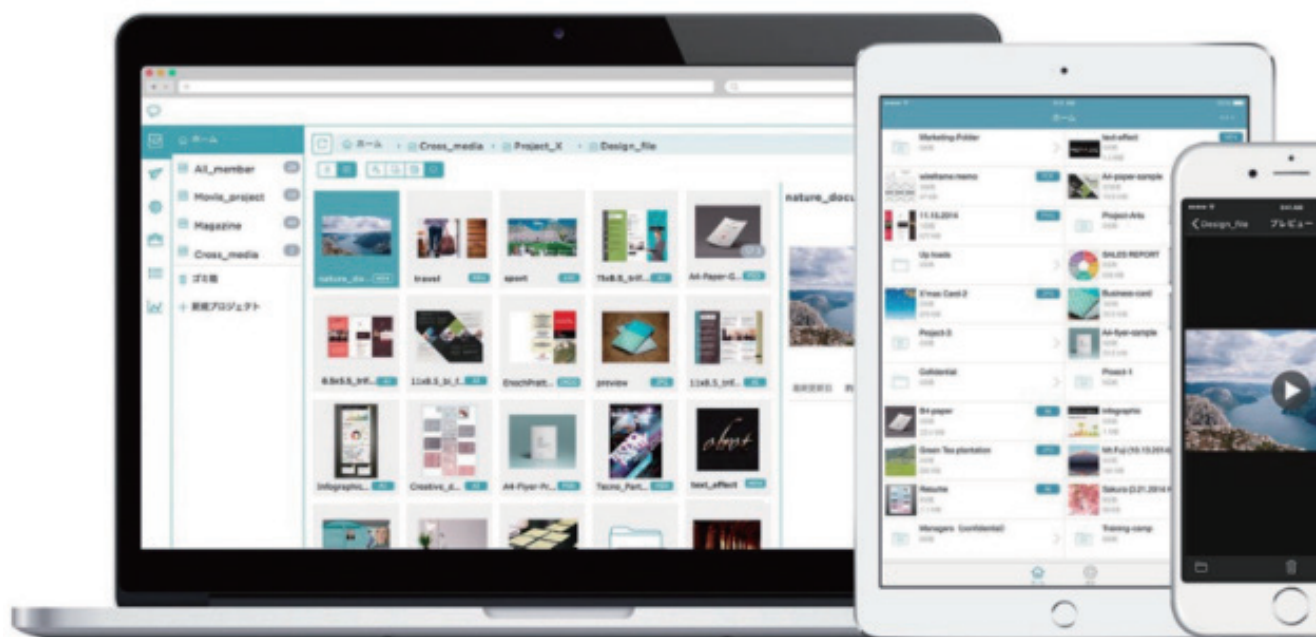
これまでのコンテンツ管理は、外部に流出させないためのセキュリティや機密性の高さを重視していました。しかしながらIT技術の導入を前提とするDXにおいては、データやコンテンツの可用性を確保することが不可欠です。

制作した、あるいは保有している映像や素材といったコンテンツを、必要な時に、必要な形で使えるシステムや環境の整備が求められます。



チームのアイデアを育てる、 クリエイティブのためのクラウドストレージ

JECTOR はクリエイティブな企業のための機能と直感的に使える
インターフェイスで映像制作の DX を助けます。



あらゆるデータを扱う クリエイターへ

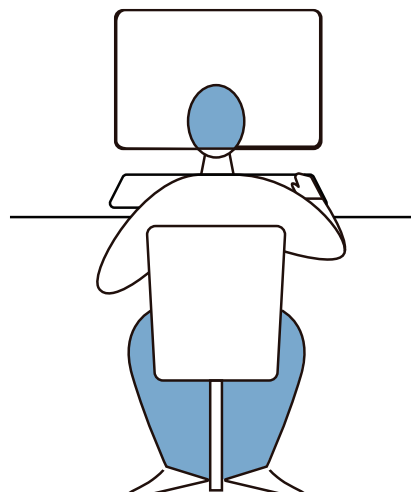
容量やファイルのフォーマットに左右されずにデータを扱うことができ、動画などの「見れない問題」を解決することができます。プロジェクトのための制作メモや予算表から、実際に撮影した動画や音声まで幅広い業務に使用することが可能です。

データのやりとりを JECTOR ひとつで

JECTOR には大切なアイデアをクラウドに保管するストレージの機能と、そのアイデアをブラッシュアップするための機能があります。クリエイターのアイデアが集う「港」としてあなたのチームやプロジェクトの成功をサポートします。

みんなが同じようにみる

JECTORでは映像や画像を Web ブラウザ上でプレビューできます。みんなが同じ環境で見ることで、同時に、素早く、複数のメンバーでデータの内容を共有することができます。

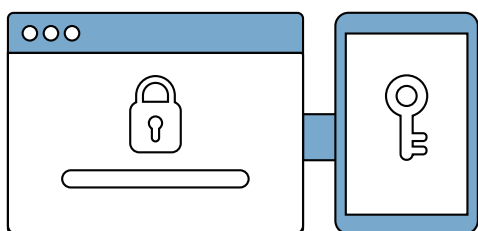
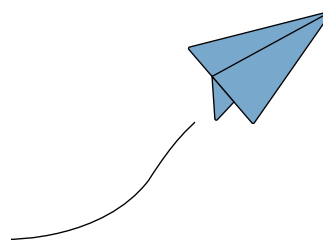


みんなでそだてる

ファイルに対してのコメントはチームメンバーの中で確認ができます。マーカー機能を併せて利用することで、言葉だけでは伝えづらい修正指示を誰でも簡単に行うことができます。

すばやくおくる

ファイル便 / ファイルリンクなら大容量のデータもスピーディに送ることができます。送られたファイルはアカウントの無い方でもブラウザ上でプレビューすることができ、スムーズな共有が可能です。



みんなで共有しながらまもる

二段階認証や詳細なメンバー権限の設定により、大切なデータを安全に管理、共有することができます。社内外でのやり取りは、全てログとして記録されます。



株式会社ねこじゃらし

〒104-0045 東京都中央区築地3-7-1 TSUKIJI GRANDE 5F

Tel : 03-5572-6564 Mail : info@jector.jp Web : <https://jector.com/>

